



令和5年1月11日  
海上保安庁

## 浅海域調査の最前線 令和4年度海洋情報部研究成果発表会を開催

海上保安庁海洋情報部が実施した最新の調査・研究成果などを紹介する「令和4年度海洋情報部研究成果発表会」を1月26日に開催します。

近年、浅海域では、洋上風力発電設備等の整備が進むなど利活用が盛んなことを踏まえ、今年度は「浅海域調査の最前線」をテーマに、航空レーザー測量や衛星画像を用いた海底地形推定技術等の調査手法とデータ処理に関する研究成果などを発表します。

海上保安庁海洋情報部は、我が国の産業や国民生活を支える海上交通の安全確保、海洋に起因する災害への対応、海洋環境の保全、海洋権益の確保、さらには海洋情報の円滑な流通を図るため最先端の調査・研究を行っており、その成果をわかりやすく紹介するため、毎年「研究成果発表会」を開催しています。

今回の発表会では、基調講演として、静岡県交通基盤部建設政策課 杉本直也氏から「静岡県が目指す「VIRTUAL SHIZUOKA 構想」とは？」、また、公立鳥取環境大学人間形成教育センター准教授 佐川龍之氏から「衛星画像を用いた浅海域の海底地形推定技術(SDB)～機械学習と多数の衛星画像を活用した技術の高度化～」と題する講演をいただくこととしています。

### 記

#### 1 開催日時

令和5年1月26日(木) 14:00-17:00 (13:00開場)

#### 2 開催方法(ハイブリッド方式)

会場: 中央合同庁舎第4号館2階 共用220会議室  
(東京都千代田区霞が関3丁目1番1号)

オンライン(Cisco Webex Meetings)

#### 3 発表内容等

別紙1「令和4年度海洋情報部研究成果発表会プログラム」をご参照願います。

#### 4 参加申込等

- (1) 会場及びオンラインともに参加は無料です。
- (2) 別紙2「参加申し込み方法」をご参照のうえ、申し込みをお願いします。
- (3) 会場の座席数は最大150席ですが、感染予防対策のため、来場者数を制限させていただく予定です。また、会場ではマスクの着用をお願いします。
- (4) 会場に専用駐車場はございませんので、ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

## 令和 4 年度海洋情報部研究成果発表会プログラム

日 時：令和 5 年 1 月 26 日（木）14:00-17:00（13:00 開場）  
会 場：中央合同庁舎第 4 号館 2 階 共用 220 会議室  
方 式：ハイブリッド方式（会場開催と Web によるオンライン開催）  
主 催：海上保安庁海洋情報部 共 催：一般財団法人日本水路協会

テーマ：浅海域調査の最前線

### <開会挨拶>

14:00-14:05 海洋情報部長 藤田 雅之

### <口頭発表>

①14:05-14:45 【基調講演Ⅰ】（40分）  
静岡県が目指す「VIRTUAL SHIZUOKA 構想」とは？  
静岡県交通基盤部建設政策課 課長代理 杉本 直也

14:45-14:50 休憩

②14:50-15:30 【基調講演Ⅱ】（40分）  
衛星画像を用いた浅海域の海底地形推定技術（SDB）  
～機械学習と多数の衛星画像を活用した技術の高度化～  
公立鳥取環境大学 人間形成教育センター  
准教授 佐川 龍之

15:30-15:35 休憩

（以下、職員発表、各20分）

③15:35-15:55 我が国の沿岸域の調査の歴史と最近の動向  
沿岸調査課 森 弘和

④15:55-16:15 マルチビーム測深における先端技術の導入に向けた研究  
～CUBE処理の導入、楕円体基準水深測量の確立を目指して～  
技術・国際課海洋研究室 住吉 昌直

⑤16:15-16:35 海の中を見る航空レーザー測量  
海上保安大学校 教授 松本 良浩

⑥16:35-16:55 沿岸域に関する「海しる」の現状について  
情報利用推進課海洋空間情報室 内藤 健志

※講演及び発表の時間には、質疑応答時間の 5 分を含みます。

### <閉会挨拶>

16:55-17:00 技術・国際課長 木下 秀樹

### <ポスター発表(会場展示)>

## 参加申し込み方法

参加を希望される方は、次の要領により事前に申し込みをお願いします。

### 1 申込方法

海上保安庁海洋情報部のホームページから「[参加申込ボタン](#)」をクリック又は、スマートフォンなどにて、次の二次元バーコードを読み取り、フォームに従い必要事項を入力の上、お申し込みください。

#### <必要事項>

- ① 聴講方法(会場またはオンライン)、
- ② 氏名、③ 所属、④ 連絡先(メールアドレス)



### 2 申込期間

令和5年1月19日(木)まで

※お申し込みが多数の場合は、期間中に締め切りとさせていただく場合があります。会場参加は先着順となりますので、予めご了承ください。

### 3 参加費

無料

### 4 参加条件

- (1)発表会は、Web 会議サービス Cisco Webex Meetings を使用して開催します。受講環境は、参加者ご自身で設定していただきますようお願いいたします。
- (2)発表会の Web サイトに参加する際、アクセス名の入力が必要です。お申し込み時に記入した「氏名」を使用してください。
- (3)発表会開催中は、入力したアクセス名「氏名」が、参加者全員に公開されることを承諾願います。

### 5 参加者への通知

令和5年1月20日(金)までに、お申し込み時に記入いただいた連絡先(メールアドレス)へご連絡いたします。

### 6 その他

基調講演及び成果発表の録画動画は、後日、海洋情報部 Web サイトで公開方法をお知らせいたします。

ご参加お待ちしております。

## 会場へのアクセス



### 海洋情報部研究成果発表会 会場へのアクセス

会場 中央合同庁舎第4号館2階 共用220会議室  
東京都千代田区霞が関3丁目1番1号

最寄り駅 東京メトロ

- ・丸ノ内線・千代田線・日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口 徒歩5分
- ・丸ノ内線・千代田線「国会議事堂前駅」4番出口 徒歩5分
- ・銀座線「虎ノ門駅」6・11番出口 徒歩5分



# 浅海域調査の最前線

主催者挨拶

海洋情報部長 藤田 雅之

基調講演 I

静岡県が目指す「VIRTUAL SHIZUOKA 構想」とは？

静岡県交通基盤部政策管理局建設政策課未来まちづくり室

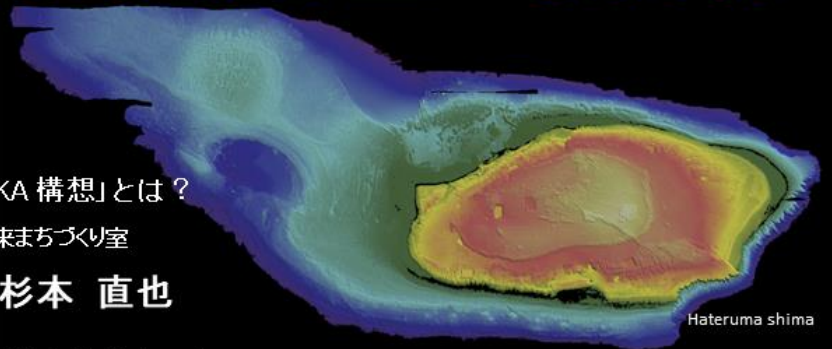
課長代理 杉本 直也

基調講演 II

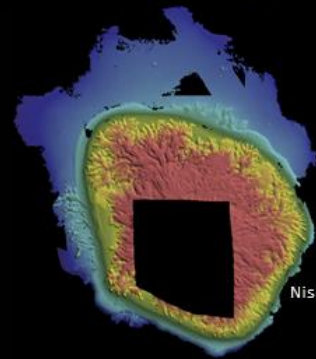
衛星画像を用いた浅海域の海底地形推定技術(SDB)

～機械学習と多数の衛星画像を活用した技術の高度化～

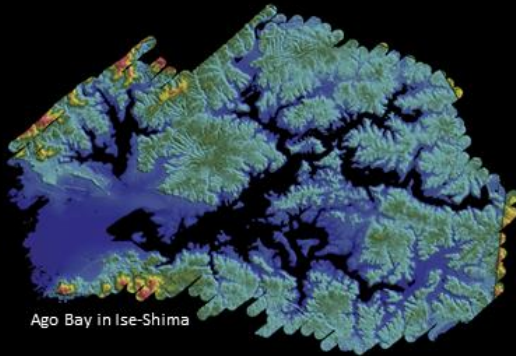
公立鳥取環境大学 人間形成教育センター 准教授 佐川 龍之



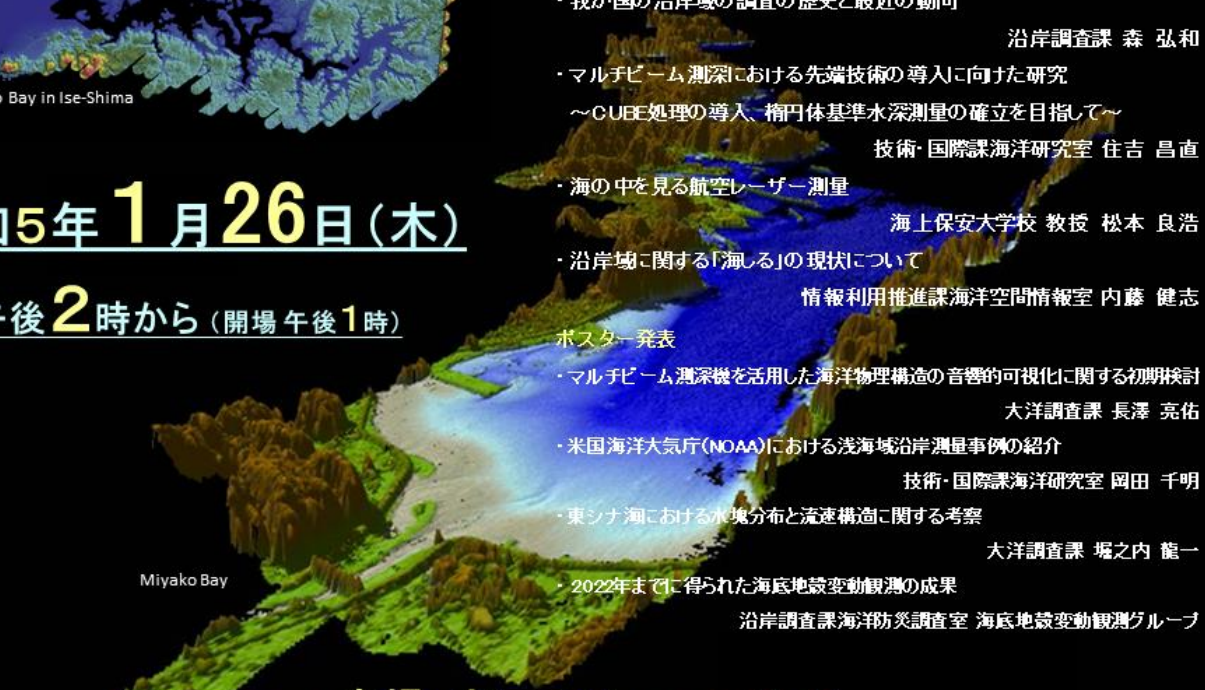
Hateruma shima



Nishino shima



Ago Bay in Ise-Shima



Miyako Bay

## 成果発表

・我が国の沿岸域の調査の歴史と最近の動向

沿岸調査課 森 弘和

・マルチビーム測深における先端技術の導入に向けた研究

～CUBE処理の導入、楕円体基準水深測定の確立を目指して～

技術・国際課海洋研究室 住吉 昌直

・海の中を見る航空レーザー測量

海上保安大学校 教授 松本 良浩

・沿岸域に関する「測る」の現状について

情報利用推進課海洋空間情報室 内藤 健志

ポスター発表

・マルチビーム測深機を活用した海洋物理構造の音響的可視化に関する初期検討

大洋調査課 長澤 亮佑

・米国海洋大気庁(NOAA)における浅海域沿岸測量事例の紹介

技術・国際課海洋研究室 岡田 千明

・東シナ海における水塊分布と流速構造に関する考察

大洋調査課 堀之内 龍一

・2022年までに得られた海底地殻変動観測の成果

沿岸調査課海洋防災調査室 海底地殻変動観測グループ

令和5年 1月26日(木)

午後2時から(開場午後1時)

開催方法: **会場&オンラインハイブリッド**

会場: 東京都千代田区霞が関 中央合同庁舎第4号館 共用220会議室

東京メトロ 霞ヶ関駅・虎ノ門駅・国会議事堂前駅から徒歩5分

オンライン: Web会議サービス(Cisco Webex Meetings)

参加費: **無料 事前申し込み制**

※詳しくは、海上保安庁海洋情報部ホームページをご覧ください。

主催: 海上保安庁海洋情報部 共催: 一般財団法人日本水路協会



参加申し込みはこちら